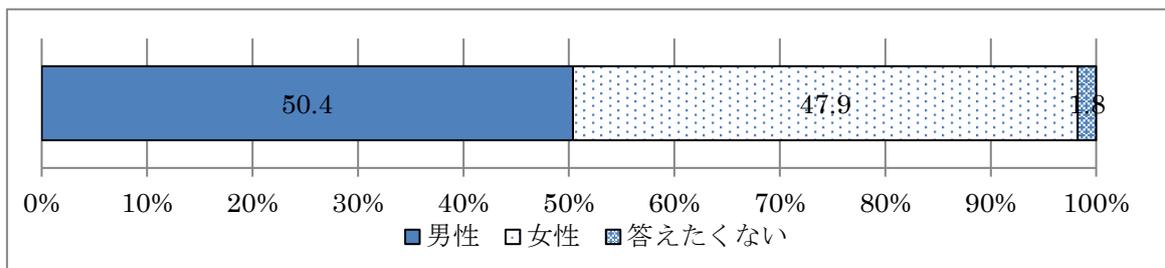


愛 西 市  
男女共同参画アンケート調査報告書  
中学2年生

令和8年1月  
愛西市市民協働課

第5次愛西市男女共同参画プランを作る資料として、市内の中学2年生の男女共同参画に関する状況を調査しました。399人の中学生から回答を得ました。調査の結果は、次のとおりです。

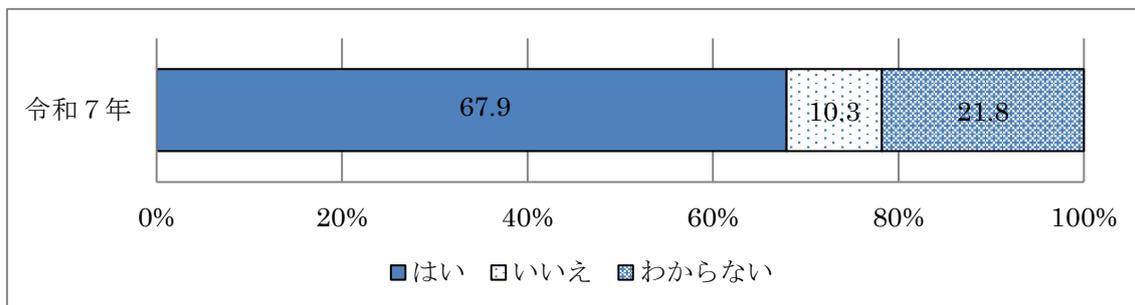
問1 あなたの性別を教えてください。



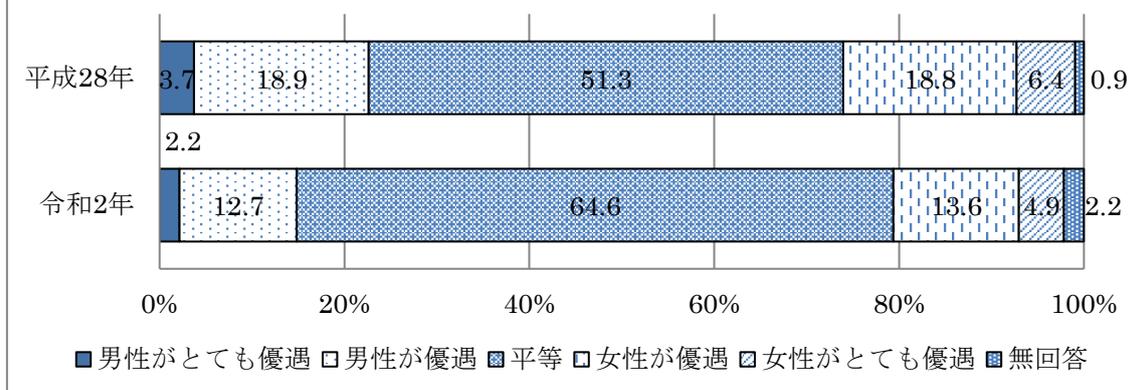
問2 あなたは、学校や家庭で男女は平等に扱われていると感じますか。(1つ選択)

「はい」の割合が67.9%と最も高くなっています。

また、令和2年と比較すると、平等と考える割合がわずかに増加しています。

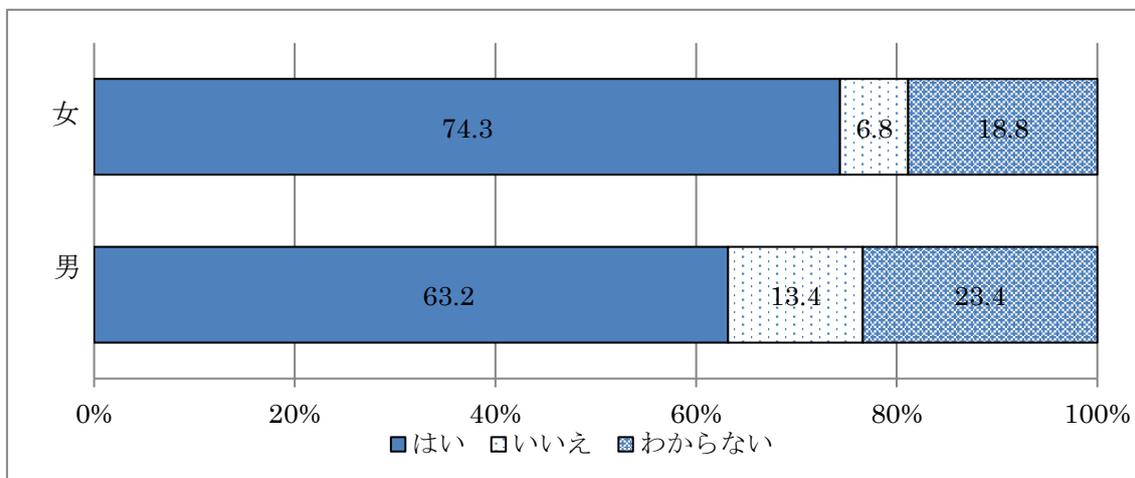


男の子と女の子は平等だと思いますか。1つ選んで○をつけてください。



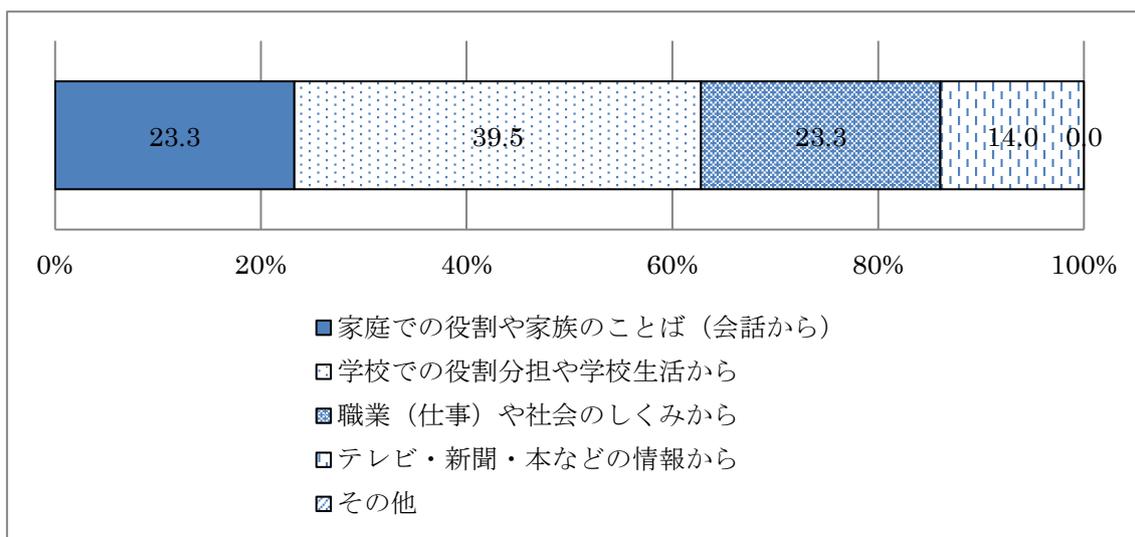
男女別に見ると、「はい」の割合は、男性より女性の方が高くなっています。

(令和7年)



いいえを選んだ人は、そう思う理由をすべて選んでください。

「学校での役割分担や学校生活から」の割合が39.5%と、最も高くなっています。次いで、「家庭での「職業（仕事）や社会のしくみから」の割合が29.8%と、この2つが6割以上を占めています。

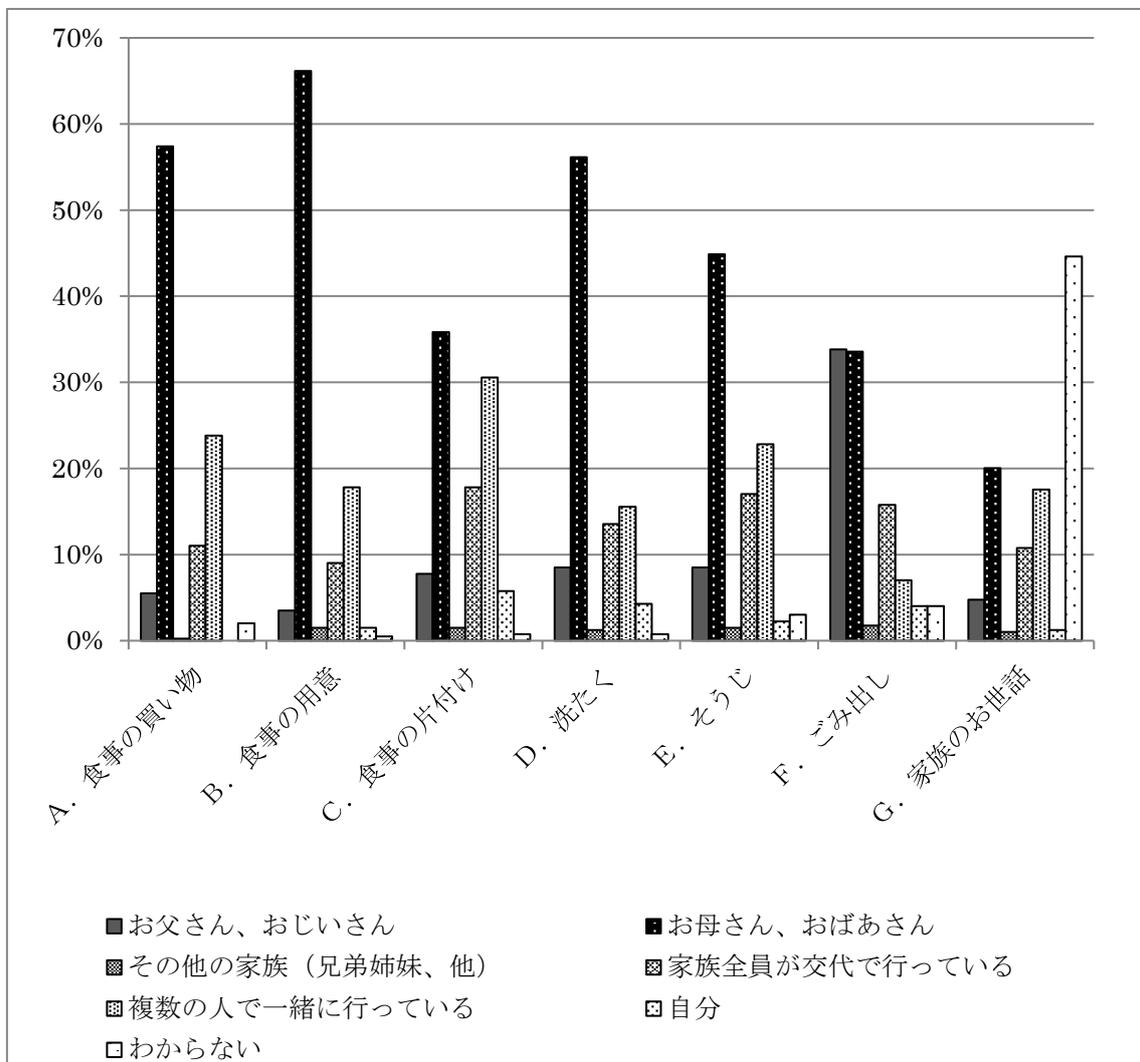


問3 次のA～Dの家事は主に家族のだれが行っていますか。(1つ選択)

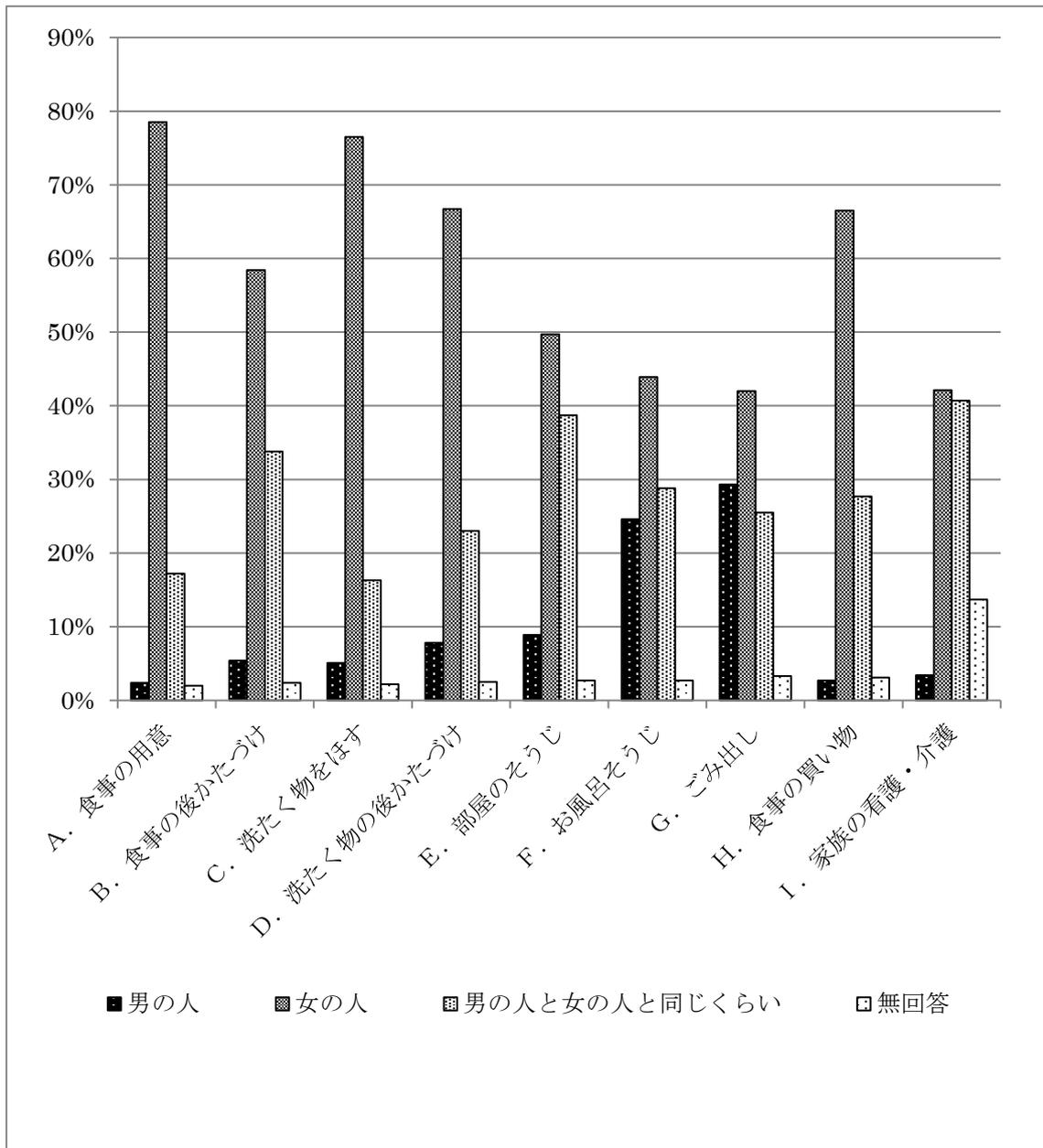
「ごみ出し」「家族のお世話」を除く項目で「お母さん、おばあさん」の割合が最も高くなっており、特に「A.食事の用意」の項目は6割を超えています。

「お父さん、おじいさん」の割合が最も高い項目は「F.ごみ出し」となっています。

「複数の人で一緒に行っている」の割合の割合が最も高い項目は、「食事の片付け」であり、この項目で最も高い割合を占めている「お母さん、おばあさん」と、同程度の割合となっています。

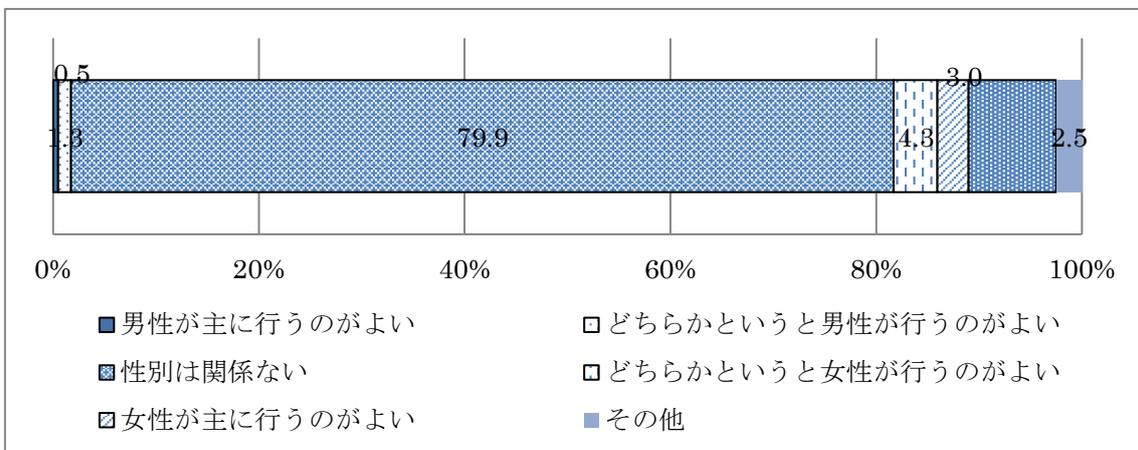


令和2年度

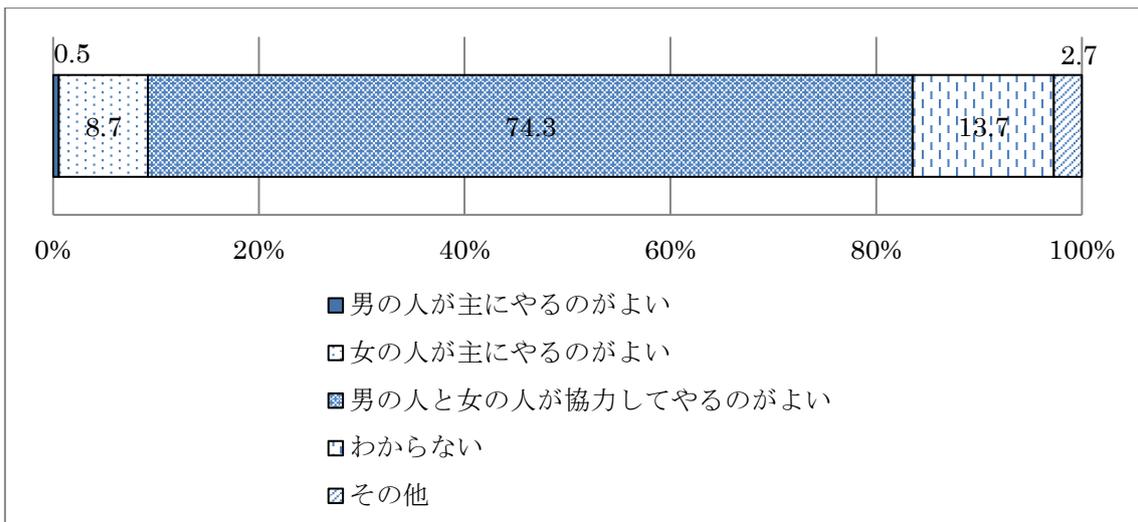


問4 あなたは、家事を家の中でだれが行うのが一番よいと思いますか。(1つ選択)

「性別は関係ない」の割合が79.9%となっており、最も高い項目となっています。  
 「男の人が主にやるのがよい」と「女の人が主にやるのがよい」の割合の比較では、「女の人」の割合の方が高くなっています。  
 その他では、「全員で行うのがよい」「家族交代で行えばいいと思う」「汚した人や使った人が片づければよいと思う。」などの回答がありました。

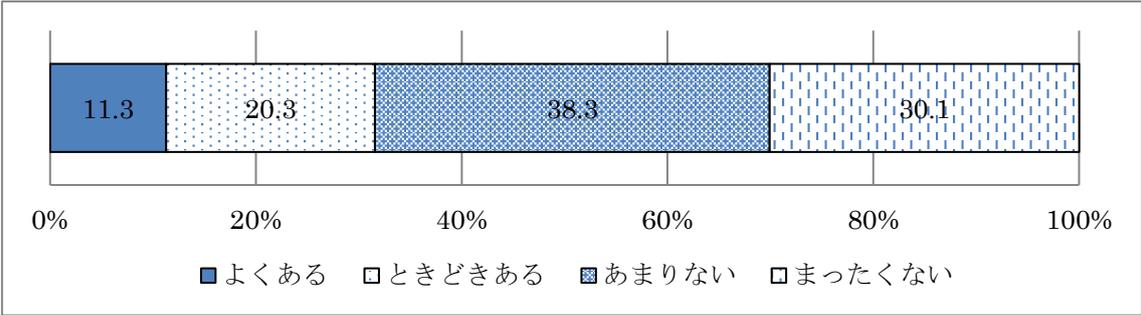


令和2年度

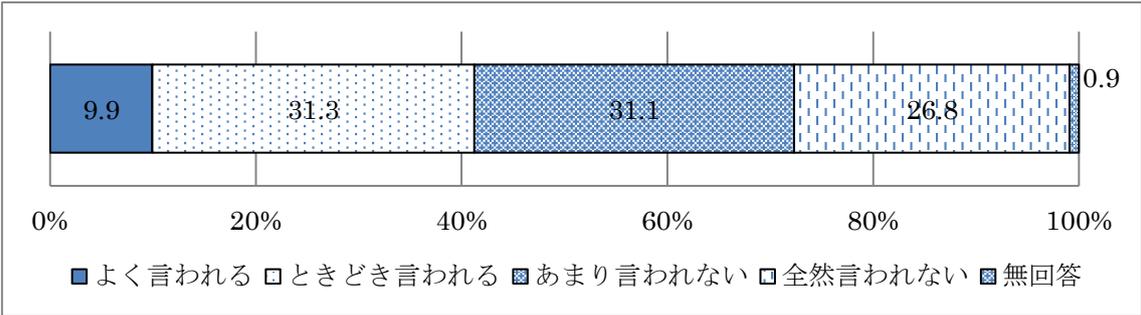


問5 あなたは、「男だから／女だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(1つ選択)

ある(「よくある」・「ときどきある」)の割合よりも、ない(「あまりない」・「全然ない」)の割合の方が、36%程度高くなっています。

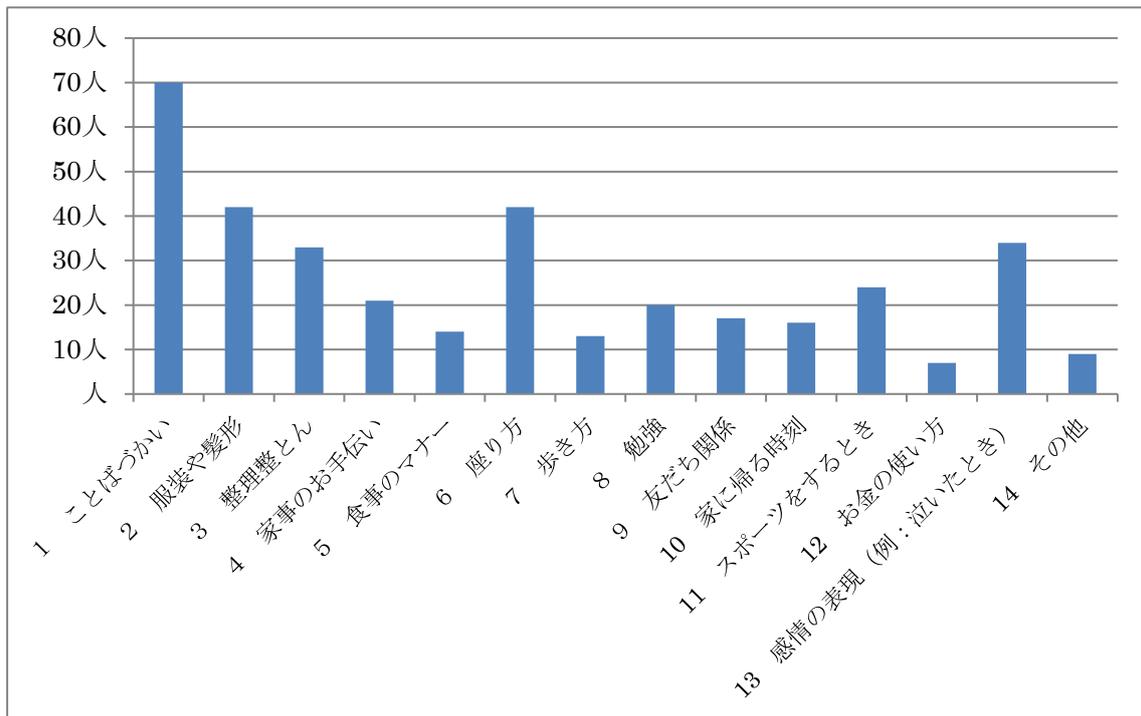


令和2年度

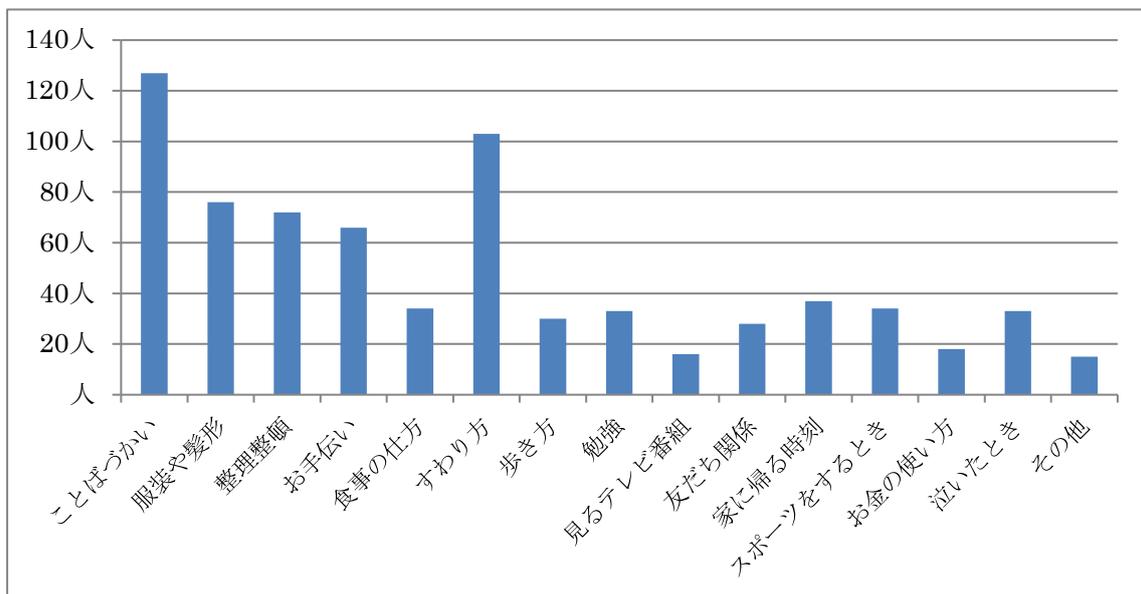


(問5で「ある」「ときどきある」と答えた人に聞きます。)  
 どんな時に言われましたか。(あてはまるものすべて選択)

「言葉づかい」の回答が最も多くなっており、60人を超えています。次いで「座り方」の回答が多くなっており、40人を超えています。その他としては「虫がさわれないとき」「いっぱい食べろ言われた」の回答がありました。

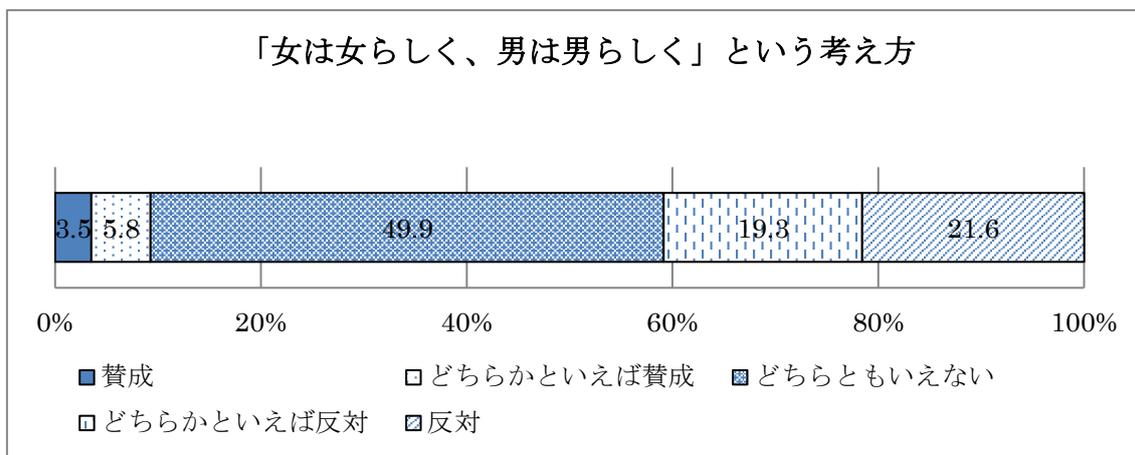


令和2年度

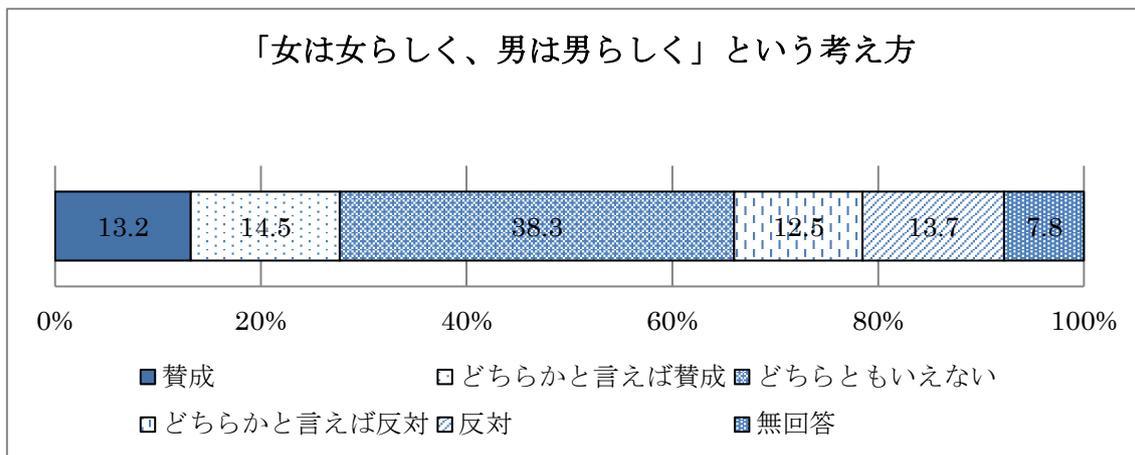


問6 「女は女らしく、男は男らしく」という考え方をどう思いますか。(1つ選択)

「どちらとも言えない」の割合が、49.9%と最も高くなっています。  
 また、賛成（「賛成」・「どちらかといえば賛成」）と反対（「どちらかといえば反対」・「反対」）の割合は反対（「どちらかといえば反対」・「反対」）が多くなっています。

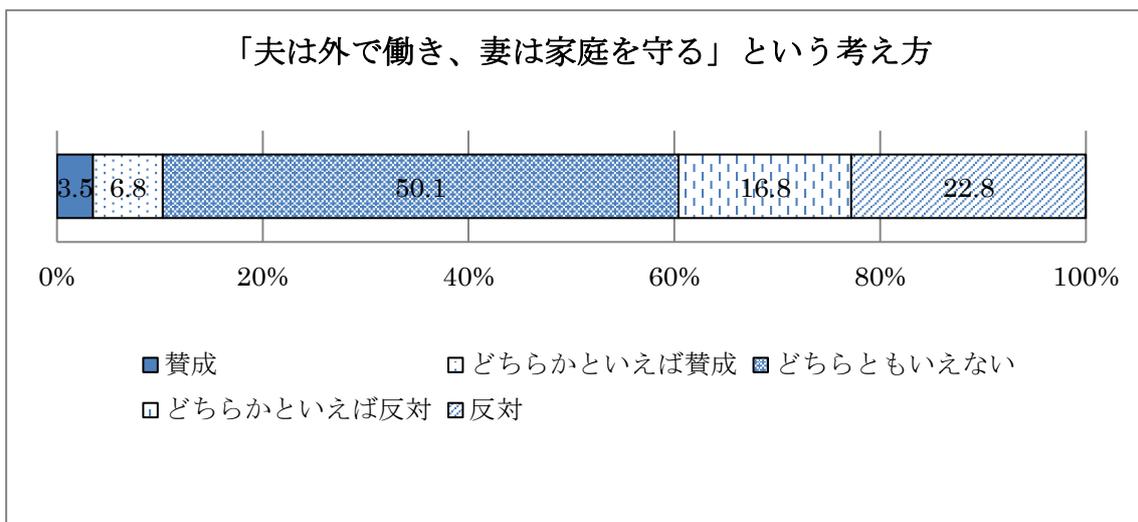


令和2年度

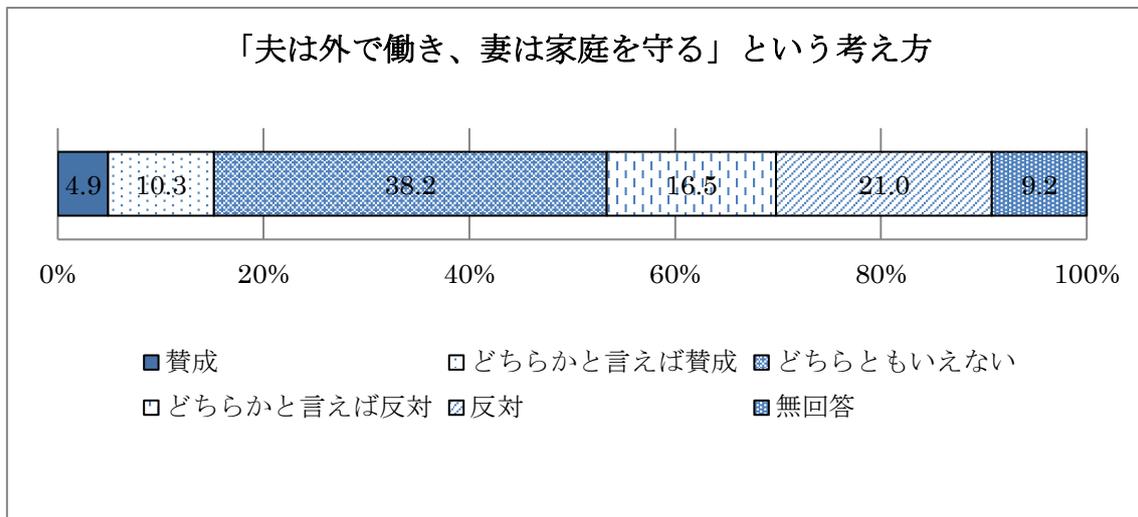


問7 「夫は外で働き、妻は家庭を守る」という考え方をどう思いますか。  
(1つ選択)

「どちらともいえない」の割合が、50.1%と最も高くなっています。  
また、賛成（「賛成」・「どちらかといえば賛成」）と反対（「どちらかといえば反対」・「反対」）の割合を比較すると、反対の割合の方が29%程度高くなっています。

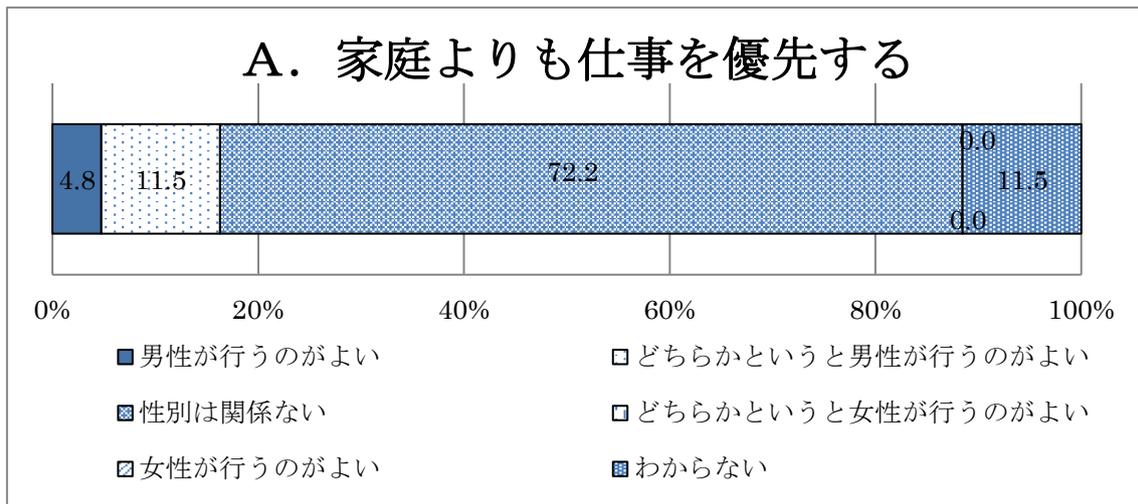


令和2年度

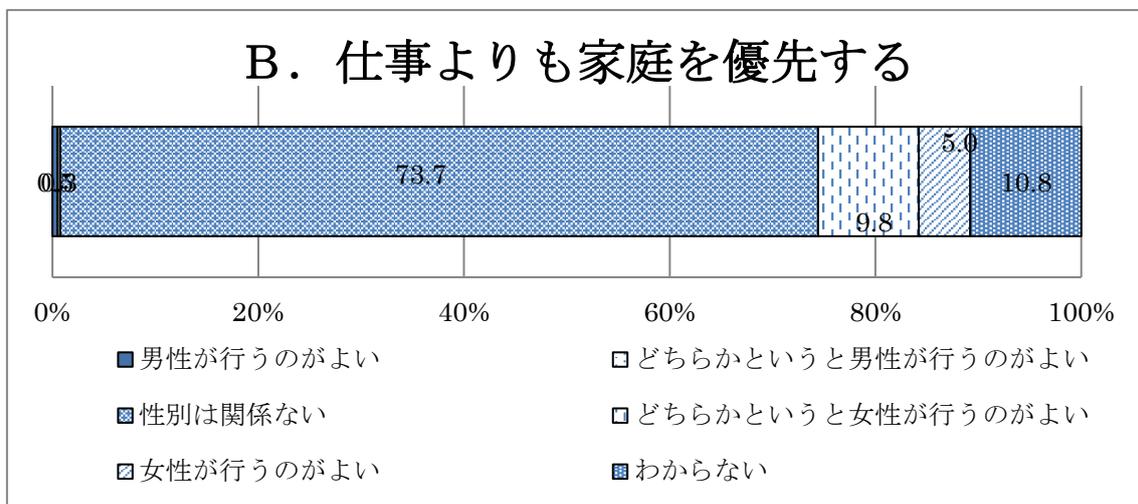


問8 以下の項目について、あなたは、だれが行うのがよいと思いますか。  
(1つ選択)

「性別は関係ない」の割合が72.2%と最も高くなっています。



「性別は関係ない」の割合が73.7%と最も高くなっています。



問9 あなたは、将来、どんなことを大切にする生活にしたいと思いますか。  
(1つ選択)

「仕事と家庭のバランスがとれた生活」の割合が49.4%と最も高くなっています。

